

豊かな自然の中で輝く人間交流都市

～ AMAZING TOYAMA ～



富山市観光戦略プラン

【 概 要 版 】

富山市商工労働部

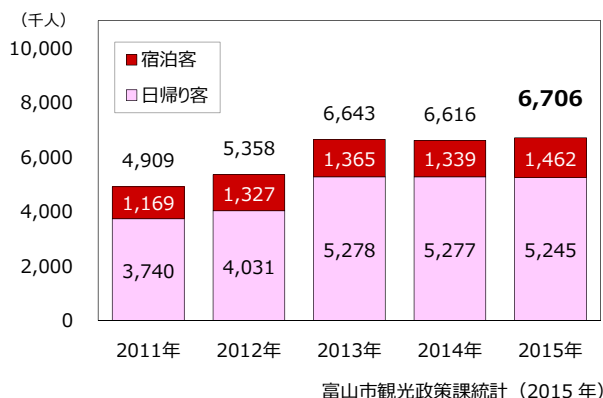
観光戦略プラン策定の目的

本計画では、新幹線開業効果を持続させるとともに、多くの外国人旅行者の訪日が見込まれる2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、今後の様々な状況変化に対応できるような体制を構築し、富山市の将来に向けた新しい流れを作り出すことで、観光のみならず、経済、社会、文化等の面において、「選ばれるまち」を目指し、戦略的な観光振興に官民一体となって取り組むこととしている。

富山市の観光の現状

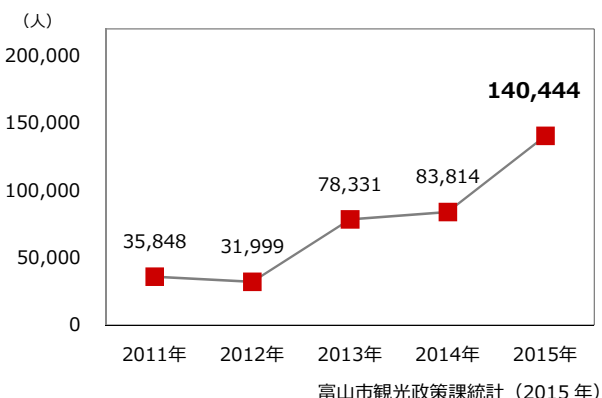
■富山市観光客入込数の推移（宿泊・日帰り別）

2015年の観光客入込数は約670万人となっている。近年の推移をみると、日帰り客は増加傾向にあるが、一方で宿泊客はほぼ横ばいとなっている。



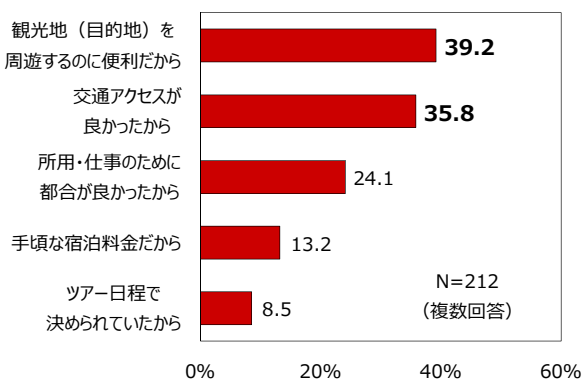
■富山市内外国人延べ宿泊者数

近年の本市内外国人延べ宿泊者数の増加は著しく、2015年は140,444人となっている。



■富山市内で宿泊する理由

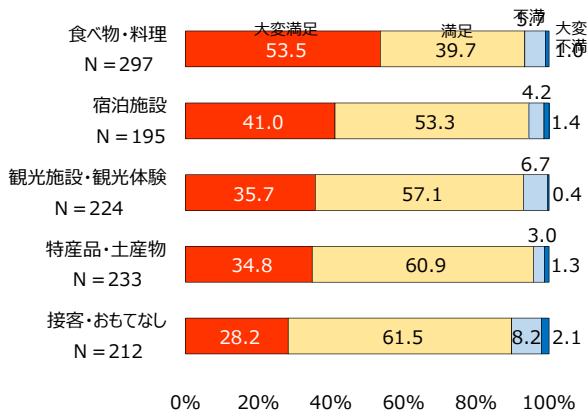
富山市内で宿泊する理由は「観光地（目的地）を周遊するのに便利だから」が最も多く、次いで「交通アクセスが良かったから」となっている。



富山市内観光客動態調査

■富山市観光の満足度

富山市観光の満足度をみると、「大変満足」の割合は「食べ物・料理」が最も多く、次いで「宿泊施設」、「観光施設・観光体験」となっている。



富山市内観光客動態調査

観光戦略プランの目指す将来の観光像

豊かな自然の中で輝く人間交流都市
～ AMAZING TOYAMA ～

観光戦略プランの計画期間と目標とする指標

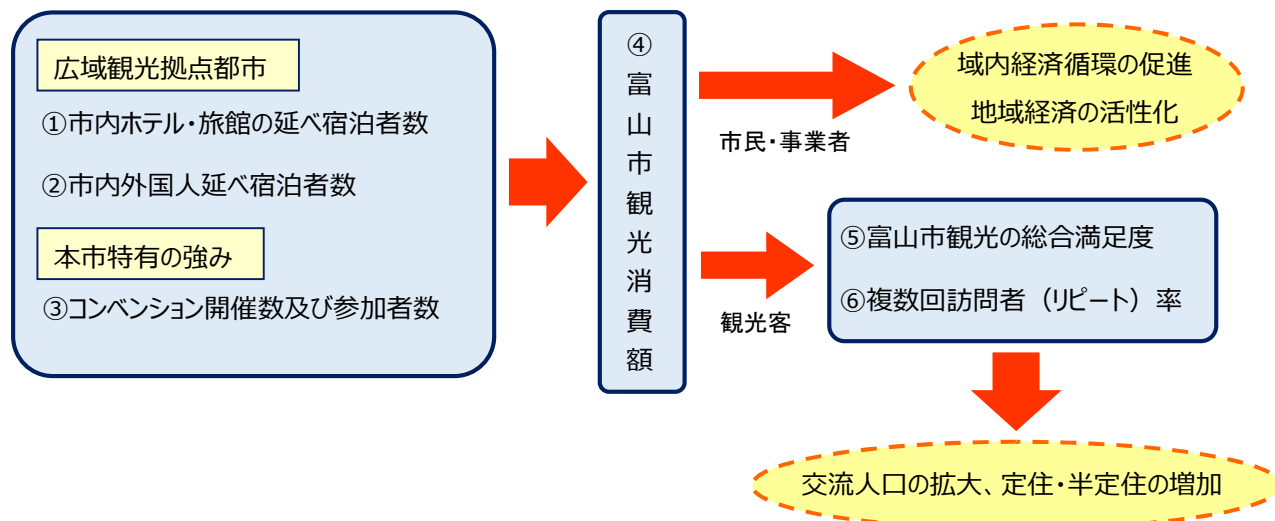
◆ 計画期間

5 年間 （平成 29 年～平成 33 年度）

◆ 目標とする指標

指標と説明	平成 33 年度 数値目標	目標設定の考え方
①市内ホテル・旅館の延べ宿泊者数 （平成 27 年度 146 万人）	161 万人	広域・滞在型観光を推進し、ホテル・旅館の宿泊者について、富山市総合計画に合わせ、27 年度実績の 10%増を目指す。
②市内外国人延べ宿泊者数 （平成 27 年度 14 万人）	25 万人	国ビジョンの伸び率や①の宿泊者数の増加に合わせ、27 年度実績の約 80%増を目指す。
③コンベンション開催数及び参加者数 （平成 27 年度 82 回 5.5 万人）	90 回 6.1 万人	コンベンションの誘致を推進し、富山市総合計画に合わせ、27 年度実績の 10%増を目指す。
④富山市観光消費額 （平成 27 年度 357 億円）	483 億円	現状の宿泊者 1 人あたりの観光消費額単価 24,452 円を 30,000 円まで向上させ、宿泊者数の目標に合わせ、約 35.3%増を目指す。
⑤富山市観光の総合満足度 （今後調査実施）	5 ポイント増	観光客の満足度向上を図り、総合満足度の「大変満足」の値において、初年度の値から 5 ポイント増を目指す。
⑥複数回訪問者（リピート）率 （平成 28 年度 62.6%）	65 %	広域・滞在型観光を推進するとともに、観光客の満足度向上を図り、2.4 ポイントの上昇を目指す。

◆ 目標とする指標のイメージ



基本戦略・基本目標の体系

本プランの目指す観光像と目標とする指標に基づき、以下の基本戦略・基本目標を定める。なお、基本戦略１と基本戦略２については、強化戦略と位置づけ、特に重点的に取り組むこととする。

強化戦略

基本戦略１ 連携 広域観光交流拠点としての都市機能強化

- 1-1 関係自治体・民間事業者との連携強化
- 1-2 広域観光に向けた二次交通の確保と利便性向上

基本戦略２ 発信 インバウンド対策の強化

- 2-1 ターゲットを絞った誘致活動の強化
- 2-2 外国人受入態勢の整備
- 2-3 各種メディアを活用した情報発信・収集

基本戦略・基本目標

基本戦略３ 創出 富山らしい魅力の創出と戦略的プロモーション

- 3-1 富山ならではの地域資源・観光資源の発掘と魅力の向上
- 3-2 富山ブランドの育成とマーケティング強化
- 3-3 各種観光イベントの魅力向上による通年型観光の促進
- 3-4 ターゲットに合った戦略的プロモーションの実施

基本戦略４ 交流 富山の特性を活かしたM I C Eの誘致推進

- 4-1 富山の特性を活かした特別感のあるM I C Eの推進
- 4-2 合宿・教育旅行の誘致
- 4-3 アフターコンベンションの充実

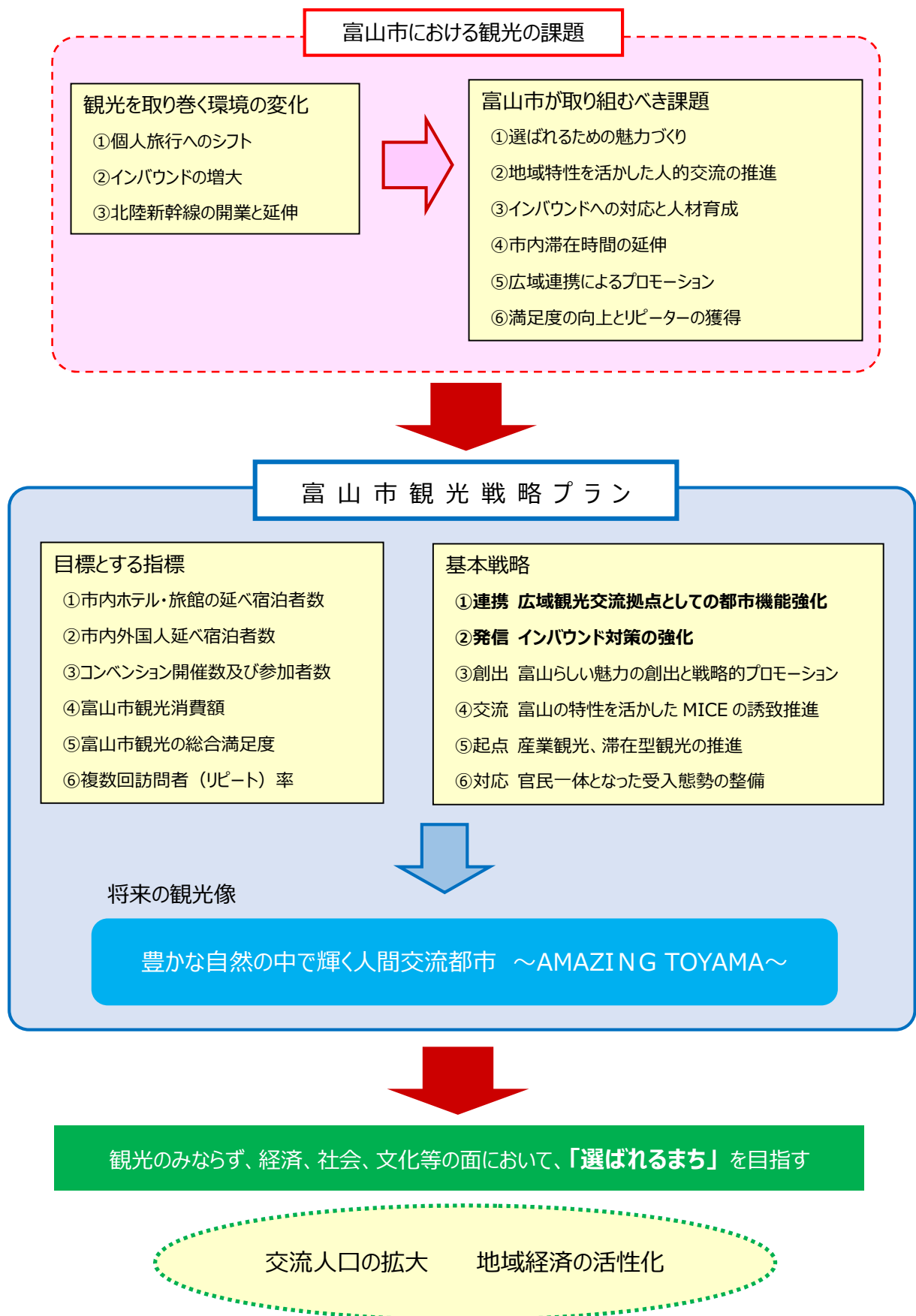
基本戦略５ 起点 産業観光、滞在型観光の推進

- 5-1 多様なニーズに応える旅行素材の開発、商品化の推進
- 5-2 まちづくりの推進によるまちなか観光の振興
- 5-3 産業観光の推進

基本戦略６ 対応 官民一体となった受入態勢の整備

- 6-1 おもてなし力の向上と受入態勢の整備
- 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成
- 6-3 観光満足度の向上とリピーターの獲得
- 6-4 富山駅周辺を中心としたインフラ整備

◆観光戦略プランの展開



基本戦略1 連携

広域観光交流拠点としての都市機能強化

基本目標1 関係自治体・民間事業者との連携強化

【主な事業】

- 富山市版DMO設立事業【新規】
- 都市間観光交流推進事業
- 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議事業

基本目標2 広域観光に向けた二次交通の確保と利便性向上

【主な事業】

- 二次交通利用促進事業
- 新幹線からの二次交通の利便性向上事業
- 自転車市民共同利用システム（バイクシェアリング事業）



基本戦略2 発信

インバウンド対策の強化

基本目標1 ターゲットを絞った誘致活動の強化

【主な事業】

- 国内在住外国人向けモニターツアー事業【新規】
- 外国人スキー客誘致推進事業
- 外国人観光客誘致宣伝事業

基本目標3 各種メディアを活用した情報発信・収集

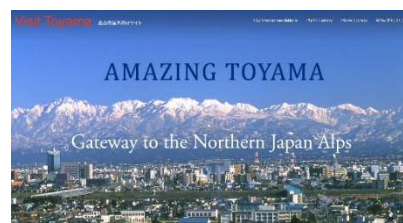
【主な事業】

- 観光客誘致宣伝事業
- フィルムコミッション事業
- 観光情報ホームページ事業

基本目標2 外国人受入態勢の整備

【主な事業】

- まちなか体験施設整備事業【新規】
- 宿泊施設外国人向け設備導入奨励事業
- 外国語表示案内板整備事業



基本戦略3 創出

富山らしい魅力の創出と戦略的プロモーション

基本目標1 富山ならではの地域資源・観光資源の発掘と魅力の向上

【主な事業】

- ガラスの街づくり事業
- 歴史的まち並み修景等整備事業
- 着地型旅行商品「ちよこたび岩瀬」実施事業

基本目標3 各種観光イベントの魅力向上による通年型観光の促進

【主な事業】

- トリエンナーレ開催事業【新規】
- 全日本チンドンコンクール開催事業
- おわら風の盆事業

基本目標2 富山ブランドの育成とマーケティング強化

【主な事業】

- 「富山のくすり」宣伝事業
- 「富山やくげん」普及推進事業
- 富山のガラス プロデュース事業

基本目標4 ターゲットに合った戦略的プロモーションの実施

【主な事業】

- 観光マーケティング事業【新規】
- トヤマツーリズムアンバサダー事業【新規】
- 観光キャンペーン事業

基本戦略4 交流

富山の特性を活かしたM I C Eの誘致推進

基本目標1 富山の特性を活かした特別感のあるM I C Eの推進

【主な事業】

- コンベンション開催支援事業
- 国際競技大会の招致・開催支援

基本目標2 合宿・教育旅行の誘致

【主な事業】

- 民泊受入検討事業【新規】
- 合宿・修学旅行誘致強化事業
- 合宿誘致リーフレット作成支援事業

基本目標3 アフターコンベンションの充実

【主な事業】

- コンベンションパスポート推進事業【新規】
- コンベンションボランティア派遣事業
- コンベンションタクシー助成事業



基本戦略5 起点

産業観光、滞在型観光の推進

基本目標1 多様なニーズに応える旅行素材の開発、商品化の推進

【主な事業】

- 滞在型観光実施支援事業【新規】
- 滞在型・交流型観光創出事業
- 滞在型観光・産業観光バスツアー補助事業

基本目標2 まちづくりの推進によるまちなか観光の振興

【主な事業】

- まちなか観光ツアー事業【新規】
- 連携型まちなか情報発信プラットフォーム事業
- グランドプラザ運営事業

基本目標3 産業観光の推進

【主な事業】

- 産業観光推進事業
- エコタウン推進事業
- 次世代エネルギーパーク推進事業



基本戦略6 対応

官民一体となった受入態勢の整備

基本目標1 おもてなし力の向上と受入態勢の整備

【主な事業】

- 外国人受入態勢整備支援事業【新規】
- 公共交通従事者によるおもてなしの向上事業（マナーアップ）
- 二次交通利用促進事業

基本目標2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成

【主な事業】

- 観光関連事業者支援事業【新規】
- 観光タクシードライバースキルアップ事業
- 観光サポーター研修事業
(外国人向け観光ホスピタリティ研修支援事業)

基本目標3 観光満足度の向上とピーターの獲得

【主な事業】

- 観光満足度調査事業【新規】
- 選ばれるまちづくり事業

基本目標4 富山駅周辺を中心としたインフラ整備

【主な事業】

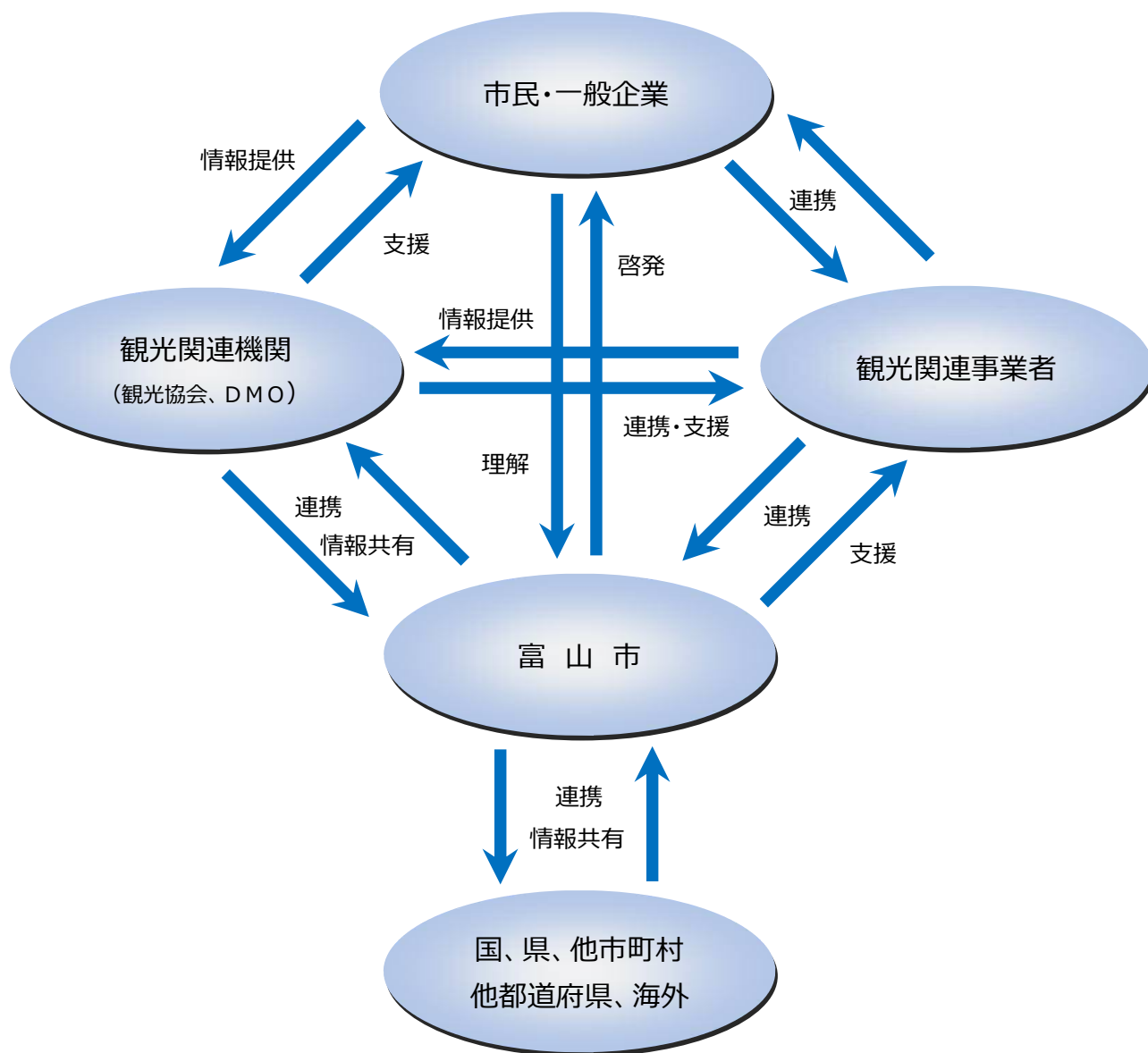
- 富山駅案内所配置検討事業【新規】
- 路面電車南北接続事業
- 富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業

推進体制の役割と連携

本プランの推進にあたっては、行政、観光協会やDMO等の観光関連機関、観光関連事業者、市民・一般企業が観光振興の重要性や相互の役割を理解し、連携しながら一体的に取り組むことが重要であるため、協働による推進体制をより強化していく。

また、本プランが目指す将来の観光像の実現のため、目標とする指標や各事業の進捗状況を定期的に評価、改善し、実効性の高い施策展開を図る。

◆ 推進体制の役割



お問い合わせ先 富山市商工労働部 観光政策課

T E L : 076-443-2072 F A X : 076-443-2184